

第一回広瀬団地再ビジョン策定プラットフォーム定例会 議事要旨

■ 概要

- ・日時：令和6年5月7日（火） 12時30分～14時40分
- ・会場：広瀬ステーション

■ PF 定例会の目的

- ・広瀬団地の各関係者が連携して団地再生に取り組むための関係者の情報共有や意見交換を行うこと
- ・関係者の今後の行動指針となる「60年先を見据えた団地再生のビジョン」（団地再生の目標や団地の将来像、大切にすること等を取りまとめたもの）を策定していくこと

■ 議事

- (1) プラットフォームの目的、進め方について
- (2) 再生に向けた課題とテーマ及びみなさんをお願いしたいこと
- (3) ワークショップの進め方

■ 意見概要

- 団地の居住者は、ほとんどが年金世代で毎年孤独死する人が出ている。一人暮らしをしている高齢者も多く、安否確認や詐欺対策、防災対策などの注意喚起を行っている。交通面では、車を持たないお年寄りにとっては交通手段が少なく、近くにショッピングセンターもないため、不便な状況。団地の外に出る機会が減っている。
- 最近では、学生も加わりながら飯玉神社とも色々なイベントができています。団地の高齢化が進んでいる中で、広瀬小学校を借りてグランドゴルフ大会をしたいと話している。小学生も少なくなっているため、団地をより良くし、大々的に団地の活性化を取り上げてもらうことで、移住してくれる人が増えて欲しい。
- 団地再生の動きがあるのは、非常にうれしいことだと感じる。これを、団地再生ビジョンができて終わりになるのではなく、ビジョン、プラン、プログラムと続けていってほしい。また、子どもは確かに少ないが、しいのみ公園（通称：タコ公園）には多くの子どもが野球等をしに遊びに来ている。分譲住宅を含め、県営や市営には全体に若い世代も入ってきている。公共バスについても政策がもう少し柔軟になれば便利になるのではないかと。全面的に協力するので、具体的に取り組んでいけると良い。
- 飯玉神社では、近年イベントや催し物、HPの作成やSNSの活用を積極的に行っていることで、県外からの参拝者が増えてきている。特に御朱印ブームにより、若い人から年配の方までの来訪者が訪れている。一方で、神社の伝統や尊厳を守っていく必要もあるため、今の現代に合わせて新しい形で運営を

していければと思う。

- また、飯玉神社では、昨年度から、後閑町で生まれ育った40代の地元住民主催で稲祖上祭というお祭りを開催した。コロナ禍の影響で遊ぶ場所が少なくなった現在、飯玉神社をきっかけに子どもが集まる場所として、広瀬だけでなく、朝倉・後閑・天川を含めた町全体で広瀬を盛り上げていきたい。お祭り以外にも、大学や地元の事業者で協力しながらイベントを行っている。神社を中心に商店街を盛り上げていくため、行政の力も借りながら民間でできることがないか考えている。
- ひろせ老人福祉センターには、現在1日で約200人前後の方が利用している。その中でも75歳以上の高齢者が大半を占め、介護を必要としない身辺自立をした方々が利用されている。前橋市は介護予防に力を入れており、ひろせ老人福祉センターでも、市独自につくったピンシヤン！元気体操を1日4回行っている。65歳以上の前橋市民の方は、無料で入館可能。
- 広瀬団地には昔おもちゃ屋やゲームセンターがあったが、最近は夜に飲みに来る街になっている。地元で飲める場所が増えており、中には居酒屋を運営している人もいる。一方、昼に来ることが無くなっているため、昼も夜も盛り上げられるきっかけ作りができると良い。